

第1回委員会での意見(要約)

第1回委員会での意見(要約)その1

1. 検討の進め方について

●まちづくりの視点からも検討すべき

- ・けやき大通りだけでなく、まち全体で考えるべき。
- ・和歌山城や中心市街地の活性化という観点からも検討すべき。

2. 通りのあるべき姿について

●通りのあるべき姿

- ・他地域から来てもおもしろいと感じる通りにすべき。
- ・観光客が獲得できるような通りにすべき。
- ・若者が集まってくるまちにすべき。
- ・老人でも楽しく歩ける通りにすべき。

第1回委員会での意見(要約)その2

3. 道路構造・交通状況の現状や問題点、道路整備に対する提案・要望など

●道幅が広いことのデメリット、今後の方向

- ・車道幅員が広すぎて道の両側の商店街が孤立している。
- ・車道幅員が広く、年寄りが渡るのに今の青信号ではギリギリ一杯で危険である。
- ・今までは道を広く整備する傾向にあったが、今後は狭いほうがいいのかという議論に取り組んでいきたい。
- ・人口規模の変化に合わせて小規模化するという考え方もある。

●歩道を拡げることのメリット

- ・歩道を拡幅した区間は、以前より見通しが良くなった。

●けやき並木のありかた

- ・和歌山の山中にはけやきが多いので、和歌山県の樹種として適切である。
- ・今のけやきを活かしながら、他の樹種も混ぜて和歌山らしい樹種で構成すべき。

●道路構造や交通運用の見直し提案等

- ・歩行者と自転車を分離してはどうか。
- ・車線数が減少する場合には、バス専用レーンの導入、カラー舗装化等により、バスの定時性を確保したい。
- ・交通事故多発地点の三木町交差点の信号運用を変えてはどうか。

第1回委員会での意見(要約)その3

4. 沿道状況の現状や問題点、沿道の活性化に対する提案・要望など(1/2)

●沿道の賑わいが無い。

- ・ウィンドウ・ショッピングが楽しめるお店が少ない。
- ・けやき大通りは広くて立派だが何も無い。
- ・空き店舗が増えている。
- ・JR和歌山駅から和歌山城までの間に「食」についての場が少ない。

●観光客に対する配慮が足りない。

- ・和歌山駅から和歌山城への行き先案内が分かりにくい。
- ・バスの行き先案内が分かりにくい。

●沿道商業施設のありかた等について

- ・魅力的な店舗を増やすべき。
- ・「ウォーク」と「食」をセットで考えるべき。
- ・商店街利用者が長時間駐車すると他の方が利用できなくなるので、駐車時間を1時間以内に制限してほしい。

第1回委員会での意見(要約)その4

4. 沿道状況の現状や問題点、沿道の活性化に対する提案・要望など(2/2)

● 県外からも人を呼べるような施策の提案等

- ・けやき大通りのまん中に商店街をつくる等、他地域には無い魅力をつくる。
- ・和歌山城を活かせば商店街の活性化の可能性もある。
- ・和歌山城を中心としたイベントの開催日数を1～2日でなく1週間規模にすればどうか。
- ・徳川御三家のうち紀伊徳川家にだけ美術館がない。
- ・JR和歌山駅前に、江戸時代の武士の銅像とか何か和歌山らしいものを造ったらどうか。
- ・歩道を広げるのであれば、江戸時代や明治時代のイメージにしたらどうか。

● 駅前での開発動向や面整備の要望等

- ・高齢者が駅前マンションに移り住む傾向にある。
- ・和歌山市に再開発や土地区画整理事業などに取り組んでほしい。

● 歩道を広げた後の懸念事項等

- ・歩道を広げただけでは賑わいはできない。歩道拡幅後の賑わいにつなげるソフト的な課題は難しい。
- ・歩道を広げてオープンカフェを設置することが考えられるが、ムクドリの被害があると思う。

第1回委員会での意見を踏まえた検討の方向

1. 検討の進め方について

- ・まちづくりの視点からも検討すべき

2. 通りのあるべき姿について

- ・若者が集まり、高齢者も含めすべての人が楽しく歩ける通りにすべき。
- ・県外からの観光客も行ってみたいと思うような魅力ある通りにすべき。

3. 道路構造・交通状況の改善について

- ・車道幅員を狭め、歩道を拡げる。(横断歩道の横断距離の短縮)
- ・歩行者と自転車を分離する。
- ・本線左折車と側道直進車による交通事故を防止する。
- ・バスの定時性を確保する。
- ・けやき並木を活かす。

4. 沿道の活性化について

- ・整備テーマを設ける。(例えば、江戸や明治時代のイメージで統一する。)
- ・和歌山城を活かす。(例えば、和歌山城関連イベントを盛大に行う。)
- ・他地域には無い魅力をつくる。(例えば、通りのまん中に商店街をつくる。)
- ・魅力ある店舗を増やす。(例えば、ウィンドウ・ショッピングや食が楽しめる店舗)
- ・空き店舗を活用して、人通りを増やす。
- ・観光客に配慮し、行き先案内をわかりやすくする。
- ・高齢者にとって安全・快適で、買い物等が便利なまちへと変えていく。
- ・歩道を広げただけでは賑わいはできない。賑わいづくり施策の充実を図る。
- ・ムクドリを排除する。